

山本能楽堂×藤本隆行 [Kinsei R&D]

安達原

光と照明による能舞台の陰翳

Yamamoto Noh theater
x Takayuki Fujimoto [Kinsei R&D]

ADACHI AHARA

2019年2月2日[土]

13:30開演(13:00開場)

大津市伝統芸能会館

February 2nd, 2019 (sat) 13:30 Start (13:00 Open)

Otsu Traditional Performing Arts Center

主催:(公財)びわ湖芸術文化財団

共催:大津市伝統芸能会館 指定管理者

大津PAC&KLPグループ(株)ピーエーシーウエスト

協力:(公財)山本能楽堂、Kinsei R&D

安達原

ADACHIGAHARA

能が、かつては屋外で上演されていたことから、能舞台の照明もあまり演出を加えない控えめな明かりが基本とされている。LED照明の登場により、照明演出の可能性が広がり表現の幅が広がった現在。先駆者である藤本隆行が、山本能楽堂(山本章弘)と能の新しい舞台照明を創り上げてきた。LED照明により、更に美しくなった能の新しい世界をお楽しみください。

[あらすじ]
「真麻苧の糸を繰り返し 昔を今になさばや」
阿闍梨祐慶は、同行の山伏らと共に修行の旅を続けていました。陸奥に辿り着いた一行は、人里離れた安達原(現在の福島県安達太良山麓)で夕暮れを迎えてしまいます。安達原に一軒だけ見つかった年齢を重ねた女の一人住まいに、祐慶たちは一晩泊めてくれるよう頼みます。家の中で祐慶は見慣れない道具を見つけ、女に尋ねます。すると、これは梓棒輪という道具で、自分のような賤しい身分の者が糸繰りに扱うのであると女は答え、また辛い浮き世の業から離れられない我が身を嘆き、しみじみ語ります。夜も更け、女は祐慶たちの寒さをしのぐために薪を取りに行くと言いつつ、留守中に決して自分の寝室を覗かないようにと念押しして出ていきます。ところが祐慶の従者のひとは我慢できず、祐慶に戒められながらも、とうとう女の部屋を覗いてしまいます。すると、そこにはおびただしい数の死骸が山のように積まれているではありませんか。女は、安達原の黒塚に住むと噂にいう鬼だったのです……。

[プロフィール]
山本章弘 Akihiko Yamamoto [山本能楽堂]
親世流能楽師・重要無形文化財総合指定保持者。亡父・山本章義、故二十五世宗家親世左近、二十六世宗家親世清和に師事。大阪・谷町にある国登録有形文化財の山本能楽堂を中心に能の普及と継承につとめる。能を「現代に生きる魅力的な芸能」として捉えなおし、現代アートや他ジャンルの舞台芸術とのコラボレーションを通して、能の可能性を追求している。また、能だけでなく文楽、落語、講談などの上方伝統芸能の普及・啓発にもつとめ「芸能の都・大阪」の魅力発信による地域活性化にも尽力。海外公演も積極的に取り組み、シビウ国際演劇祭に能として初めて招聘を受け3年連続出演し大喝采を浴びる。平成29年の大阪城とブルターニュ大公城の友好城郭提携でも能を披露し(フランス/ナント市)国際親善にもつとめている。

藤本隆行 Takayuki Fujimoto [Kinsei R&D]
照明家・舞台作品のディレクター。アート・コレクティブ dumb type のメンバーとして、主に照明とテクニカル・マネージメントを担当し、21世紀に入ってからは、個人の活動の場としてKinsei R&Dを設立。LED照明を使った舞台/美術作品の制作を開始。近作としては、意識のあり方を探求した舞台作品「赤を見る/Seeing Red」や、人類の歴史を寛容/不寛容という切り口で見つめた「T/IT: 不寛容について」等がある。また、音と色彩の同期を軸にしたインスタレーション作品の制作やコンサートの演出も行い、2010年からは大阪の山本能楽堂にて、古典能の演目にLEDで照明を付ける試みも続けている。



2019年2月2日[土]

13:30開演(13:00開場)

解説:山本章弘

能 安達原 白頭

アフタートーク:藤本隆行×山本章弘

前シテ(里女)/後シテ(鬼女):

山本章弘

ワキ(山伏祐慶):福王知登

ワキツレ(山伏):中村宣成

アイ(能力):茂山あきら

笛:左鴻泰弘

小鼓:曾和鼓堂

大鼓:河村大

太鼓:井上敬介

後見:

大西礼久

深野貴彦

地謡:

杉浦豊彦

吉井基晴

浦田保親

越賀隆之

河村浩太郎

樹下千慧

笠田祐樹

山本麗晃

(働き:前田和子、浦田親良)

照明:藤本隆行

[料金(全席指定)]

一般前売:4,000円

一般当日:4,500円

青少年(24歳以下)前売:3,000円

青少年当日:3,500円

Ticket Prices (Reserved seat)

Adult Advance: ¥4,000 / Day: ¥4,500

Youth (aged under-24) Advance: ¥3,000 / Day: ¥3,500

[チケット]

11月23日[金・祝] チケット発売

プレイガイド:

・大津市伝統芸能会館

・堅田駅前観光案内所

・びわ湖ホールチケットセンター

(10:00-19:00火曜休館、現金・窓口販売のみ)

・ローソンチケット(Lコード:51675)

・びわ湖芸術文化財団Web販売

<https://www.biwako-arts.or.jp/rd/>

※6歳未満のお子様はご入場いただけません。



大津市伝統芸能会館

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246-24

Tel. 077-527-5236

・京阪石山坂本線「大津市役所前」駅から徒歩約5分

・JR湖西線「大津京」駅から徒歩約15分

・西大津バイパス 皇子山ランプより車で約10分

5 minutes walk from "OTSU SHIYAKUSYOMAE"

on the Keihan Railway, Ishiyama Sakamoto-Line.

15 minutes walk from "OTSUKYO" on the JR Railway, Kosei-Line.